

たくちばはいノ廢趾

第十八圖解説

たくちばはい (Takhitibahai) ノ廢墟ハ、印度ペじやわる市ノ東北ゆすぶざい (Yusufzai) 平原ニ在リ、海拔千八百五十九英尺、ゆすぶざい平原ヨリ高キコト六百五十英尺ナリ、此附近ハ古ノ所謂健駄羅國ニシテ、我聖教ノ歴史ニ深厚ナル因縁ヲ有スルト共ニ、亞歷山大帝東征ノ歴史ニモ亦大ノ關係ヲ有セリ、圖ニ示セルモノハ、たくちばはいノ廢趾トナス、其建築ハばくとりやぐり、一ノ影響甚ダシク、今ヤ考古學者ノ研究ニヨリ、佛教僧院ノ遺趾ナリト推定セラル、ニ至レリ、荒敗ノ狀景人ヲシテ、今古ノ情ニ堪エザラシム。